

別記様式

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 30 年 11 月 11 日 午後 7 時～8 時 30 分	開催会場	帷子地区センター
出席議員	澤野 伸、伊藤 壽、林 則夫、亀谷 光、富田牧子 山根一男、酒井正司、山田喜弘、出口忠雄、高木将延		
班長	山田 喜弘		
参加者数	10人		
実施内容	平成 29 年度決算報告とテーマを中心とした意見交換		
質疑および 主な意見等	<p><1グループ> 報告者 <u>富田牧子</u> 記録者 <u>山根一男</u></p> <p>テーマ「災害への備え」</p> <p>災害時の情報伝達について、防災行政無線が廃止の方向と聞くが、その道筋や代替方法について方向性を示してもらいたい。</p> <p>災害時の情報伝達方法について、自治会独自に整備していきたいが、そのような取り組みに対して行政として支援して欲しい。</p> <p>防災行政無線について、ほとんど聞き取れないことが多いので他の方法を考えるべきだ。</p> <p>『議会運営委員会所管分』</p> <p>「議会の自主解散について」</p> <p>議会の解散に関する決議が否決されているが、市民のことを考えるならば解散して、選挙を市長選と併せるべきだった。</p> <p>「議会報告会について」</p> <p>議会報告会で出された意見や提案が、どのように市政に反映されるかが不透明である。次回の報告会での結果報告をして欲しい。(議会報告会に関する提案 別紙)</p> <p>『予算決算委員会所管分』</p> <p>「決算について」</p> <p>市税収入が減少しているというが、特に法人市民税が減った理由は何か。また、地方交付税が減少しているのはどういう理由か。</p> <p>国民健康保険事業について、収入より支出が多いが基金となるのか。</p> <p>『広報特別委員会』</p> <p>「決算について」</p> <p>歳出額について、それだけで評価できないので対前年比について表記してほしい。</p> <p>『建設市民委員会所管分』</p> <p>「都市計画道路について」</p> <p>西可児中学校横から春里へ下りてゆく道が危険。ここは都市計画された道があるので着手して欲しい。</p>		

『教育福祉委員会所管分』

「マーノについて」

マーノにおける賑わいづくりは達成しているのか。あまり利用されていないように感じる。そもそも市が規定する「賑わい」とはどのような状態を指すのか。

「小・中学校区の見直しについて」

若葉台・長坂については、小学校区（帷子・南帷子小）・中学校区（西可児・広陵中）において分断されており、不都合なことがある。見直して欲しい。

「岐阜医療科学大学の開校について」

岐阜医療科学大学が来年開校するにあたって、市として受け入れ態勢はできているのか。動きが見えない。

可児市の健康寿命について、岐阜医療科学大学と連携するなどを明らかにして欲しい。

岐阜医療科学大学の開校に合わせて、学生たちにも魅力ある施設やサービスを検討して欲しい。これを契機として西可児駅前の再開発を期待する。

<2グループ> 報告者 酒井正司 記録者 高木将延

テーマ「災害の備えについて」

- ・帷子小学校の備蓄品が70人分と聞いているが、足りないのでは。
- ・被災時、市外からの支援物資はどのようなルートで来るのか。運搬組織はあるのか。ちゃんと出来るか大変不安である。
- ・市民の大半は市が全部やってくれると思っている。防災の正しい知識を広める必要があると思う。
- ・トイレに関する課題は大変重要である。下水に流して良いのか、どのようなタイプの簡易トイレを使って良いのかなど正しい情報発信が大事。
- ・市は「すぐメールかに」を推奨しているが、ショートメールしか使えない携帯等はどうすればいいのか。
- ・災害時、兼山地区が孤立しないか心配。
- ・長期の停電や、通信基地局が壊れた場合の情報伝達方法は考えられているのか。
- ・団地では近所の人をよく知らないケースもある。
- ・自主防災組織は自治会とは別に作った方がよいのでは。

《災害に対し何を準備しているか》

- ・水を多めに準備している。2人で4ケース。
- ・電源の要らないストーブ、カセットボンベ式ストーブなど。
- ・簡易トイレ、紙おむつを用意している。

『総務企画委員会所管分』

「消防費について」

- ・ 災害対策費には何が含まれるのか、説明してほしい。
- ・ 市が対応するもの、自主防災組織で対応するものをはっきり区別して欲しい。

『建設市民委員会所管分』

「土木費について」

- ・ 歩道がガタガタになってきている。歩道整備も行って欲しい。

『教育福祉委員会所管分』

「民生費について」

- ・ 生活保護の比率が増えていないかが気になる。増えているのであれば、受給者が増えているのか、支給額が増えているのか知りたい。
- 平成29年度末保護世帯、242世帯 296人。対前年度比39,915千円増と回答。

『広報特別委員会』

決算報告において、単年度だけでは事業費が適正かどうか分からない。経年変化が分かるようにしてほしい。

市役所ホームページに決算の資料編として経年変化（5年間）を見ることができると回答。

課題 議会のトビラにどう反映するか。

平成30年11月15日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 帷子地区センター会場 班長 山田喜弘

2018年11月11日

可児市議会 議会報告会関係者様

議会報告会に関する提案

議会報告会は、議員の方たちの活動をお聞かせいただけるだけでなく、市民の生の声を議員の方たちに聞いていただける非常に有意義な会合だと思います。

私も可能な限りやり繰りして参加させていただいています。

ところで、当日発言がありました市民の声は、後日地区センター別・グループ別にまとめられて、議会ホームページに掲載されています。但し、ここで終了となっています。

然しながら、ここからが本番なのではないでしょうか？

即ち、市民からいただいた貴重な(?)意見をどうするのか？どうしたのか？その結果が全く市民にフィードバックされていません。市民としては、当日「意見・苦情・提案・依頼」等を発言しただけに終わっています。これでは、今後また議会報告会に参加しようという気持ちにならないのではないのでしょうか？

委員会別に付託するテーマは載っていますが、その結果がどうなったのか？その他のテーマはいったいどういう扱いになっているのか？発言者は気にかけているのではないのでしょうか？少なくとも私は大いに関心があります。言いつばなしで終わるなら、こういう場の価値は半減するのではないのでしょうか？

市民の意見をまずテーマ毎にまとめ、それを議会としてどう扱うのかを判断し、取り上げるべきテーマを取捨選択し、取り上げたテーマはどのような結論になったかをまとめ、次回の報告会で主な内容の報告を行うと共に、ホームページに載せる、というような流れを是非作っていただきたいと思います。

まとめの例

番号	意見・テーマ	地区・件数	合計	委員会付託	結果
1	○○○	帷子：1 桜ヶ丘：2	3	建設委員会	
2	△△△	平牧：1	1	教育福祉委員会	
3	□□□	中恵土：1 姫治：1	2	×	●●のため
4	×××	広見：1	1	×	自治会へ送付

以上